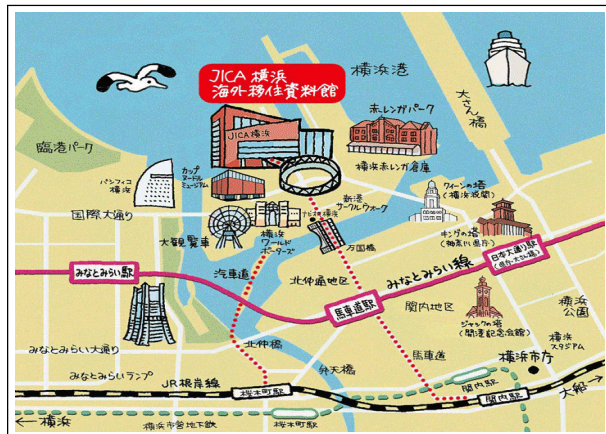


# 国際協力の現場を語る

JICA(ジャイカ:国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持ったシニア(40歳~69歳)を途上国に「シニア海外ボランティア」として派遣しています。この人達はシニアならではの、海外旅行などでの体験とは違った貴重な体験をしてくれています。そんな話題も含めて体験を語って頂きます。

日 時:毎月第3水曜日 15時30分~17時  
 会 場:JICA横浜 1階会議室または4階セミナールームなど  
 会 費:無料 (どなたでも自由に参加できます)  
 主 催:NPO法人「シニアボランティア経験を活かす会」  
 後 援:JICA横浜  
 (やむを得ず日時・会場が変更される場合があります。事前にシニアボランティア経験を活かす会ホームページ、または下記問い合わせ先に確認して下さい。)



問合せ先:横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜3階 国際協力連絡室内  
 シニアボランティア経験を活かす会 水曜日  
 Fax:045-663-3263 担当:森岡 潔 (046-849-9938)  
 URL jicasvob.com E-mail [info@jicasvob.com](mailto:info@jicasvob.com)

赴任国(講師名)	「タイトル」	講演概要
第155回 8月15日 (水) メキシコ (岡田 洋)		<p>「メキシコでの5S/カイゼン実践教育活動の紹介と生活して感じたこと」                      メキシコの中央高原地帯にあるサン・ファン・デル・リオの工科大学で品質や生産性を向上するための指導を、学生や地元の中小企業に実施しました。特に力を入れて行った模擬教材等を使用した5S/カイゼンの実践教育普及活動の様子を紹介します。また、日本とメキシコの親善を図るために行った国際交流イベントについても報告します。</p>
第156回 9月19日 (水) コスタリカ (松村繁満)		<p>「世界標準 ISO17025 認定取得へのチャレンジ」                      中米のコスタリカ大学の電子顕微鏡センターでISO17025導入の支援を行いました。品質管理が全く行われていなく、ゼロ(0)からのスタートで大変な苦労でしたが、計画した内容は全て完了してきました。活動した内容、異文化の中の活動で苦労したことや喜び、活動から得たもの、日本文化紹介活動などを発表します。</p>
第157回 10月17日 (水) ニカラグア (高森 敏)		<p>「合気道普及活動とニカラグア人の国民性について」                      ニカラグアの首都マナグアを中心に、主に大学生や一般社会人を対象に、合気道や護身術などを指導しました。2年間の主な活動は、新道場設立、体術、武器術の指導、昇級審査や武士道精神伝承などです。2年間の活動を通じて、ニカラグア人の家族、生活習慣、政治、宗教、国民性や隣国を含めたラテンアメリカ社会の共通点などを紹介します。</p>
第158回 11月21日 (水) モロッコ (山本文子)		<p>「小学校教育への情操教育の導入」                      モロッコの小学校では、座学中心の教科に重点が置かれていて、体育や図工は時間割に書かれていても実施されません。教員養成校では理論を実践する指導がなされていないからです。そこで、教員養成校や小学校で図工・音楽・体育の3教科を通した情操教育を実施するべく活動しました。指先や体を動かし友達と協力する情操教育科目を、みんな大喜びで楽しみにしていました。その様子や人々の生活の様子をお話します。</p>
第159回 12月19日 (水) エチオピア (西田 尚)		<p>「念い(おもい)は続くよ、どこまでも」                      平成8年に青年海外協力隊員としてアフリカのエチオピアに赴任した私、当時28歳でした。地球環境保全に携わりたい思いから植林支援という要請内容のエチオピアを希望し、見事に切符を勝ち取ったのですが、そこで待っている活動は決して満足のものではありませんでした。そんな思いの中で過ごした2年間、現地で何ができたのか、残せたのか、それは20年後の2018年のエチオピア訪問で知ることになります。そんな体験をお話します。</p>